

野山などへ行く際には マダニにご注意！

保健福祉課 内線621

宇和島地域で「日本紅斑熱」が発生しています。

感染経路

病原体リケツチアを保有しているマダニに刺されることで感染します。人から人へは感染しません。

日本紅斑熱の症状

マダニに刺されて2日から8日後に、倦怠感や頭痛、悪寒を伴つて急に38～40度の高熱が出ます。発熱とともに、米粒大から小豆大の赤い発疹が現れ、手足から全身に広がりますが痛みや痒みはありません。また、マダニが刺した痕（刺し口）が見られます。

対策

- 肌ができるだけ出さないよう、長袖や長ズボンを着用しましょう。
- 肌ができるだけ出さないよう、長袖や長ズボンを着用しましょう。
- 地面に直接寝転んだり、腰をおろしたりしないよう、敷物を使いましょう。
- 帰宅後はすぐに入浴し、体についたダニを落とし、新しい服に

着替えましょう。
⑤ダニを見つけたときは、つぶさないよう頭部をピンセットなどで摘むようにして慎重に取り除くか、医療機関で取つてもらいましょう。

発生時期と地域

マダニの活動時期と人の接触の機会から、4月から10月に多く発生しています。徳島県で初めて発見され、九州、四国、中国地方を中心いて急速に温暖な太平洋沿いで発生しています。愛媛県では、平成15年に中予で初めての患者が報告されていますから20例の報告があり、そのうち18例が宇和島地域で報告されています。

感染したと思ったら

有効な治療薬（抗菌薬）があります。早めに最寄りの医療機関で受診してください。

架空請求にご注意！

産業課 内線268

最近、架空請求の手口が悪質かつ巧妙化しており、「身に覚えのない請求ハガキは無視を！」といふことが定着するなかで、「封書

による不審な請求が来た」という相談が増加しています。「国民健康保険庁」という実在しない公的機関の名称を名乗り、「年金の未納がある」などとして架空請求す

る督促状を送りつけたり、「国民生活管理センター」「日本消費者活センター」などの公的機関を思われる名称を用いたりして、「連絡がない場合には裁判所への出廷となります。万が一、身に覚えがない場合は早急にご連絡ください」と、消費者心理を巧みに利用し相手先への連絡を誘導する悪質な手口も見られます。

対処法

- 一度払ってしまうと、業者から力もと思われ次々と新たな請求が続きます。例え少額であっても身に覚えのない請求に応じてはいけません。
- 連絡すると相手に電話番号などの個人情報を聞き出され、被害が大きくなる恐れがあるので、記載されている連絡先には絶対連絡しないでください。
- 愛媛県では、このような架空請求を行う事業者の名称をホームページでお知らせしています。

問い合わせ先

愛媛県消費生活センター

☎ 089・925・3700

（平成19年4月1日から県における消費生活相談窓口は消費生活センターに集約されました。）

ひょうたんプール開園のお知らせ

建設課 内線241



開園期間 7月21日(土)～8月31日(金)
休園日 毎週火曜日
開園時間 9時30分から17時
利用対象者 幼児、小学生
使用料 無料

詳しくは、愛媛県HP (<http://www.pref.ehime.jp/>) から「くらし・防災」→「消費・家庭生活」→「架空請求を行う事業者名等について」をご覧ください。